

# かごマット施工説明書

スロープタイプ P 3 ~ P 12

## 多段式工

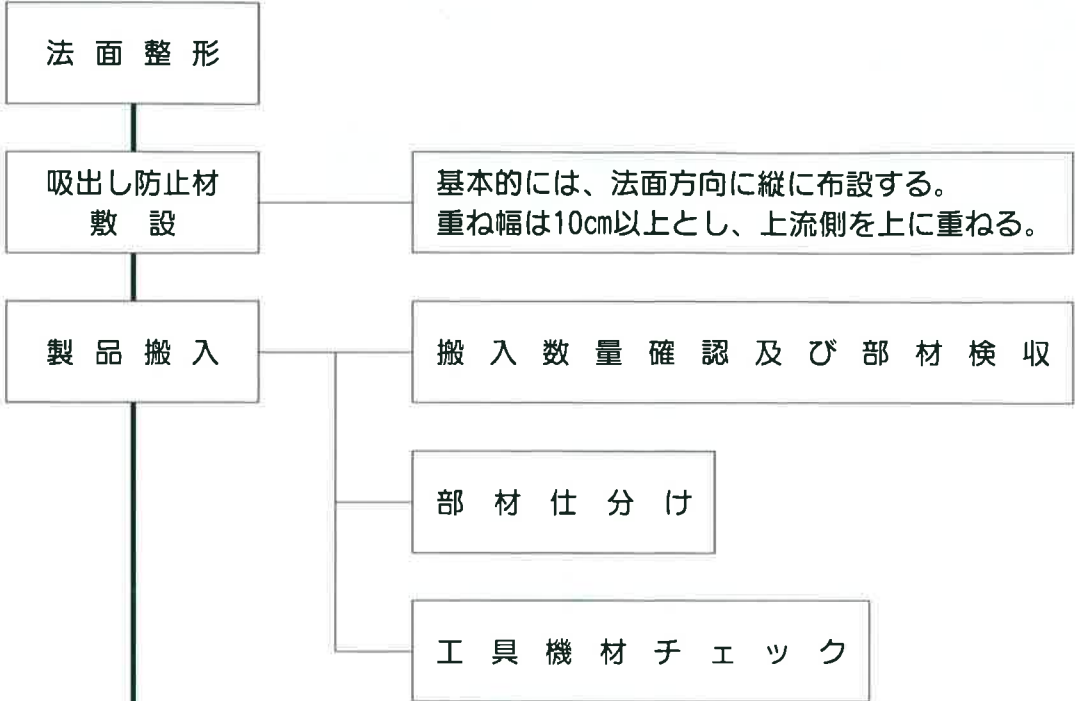
〔ダブルタイプ〕 P 13 ~ P 15

〔シングルタイプ〕 P 16 ~ P 18

# (フローチャート)

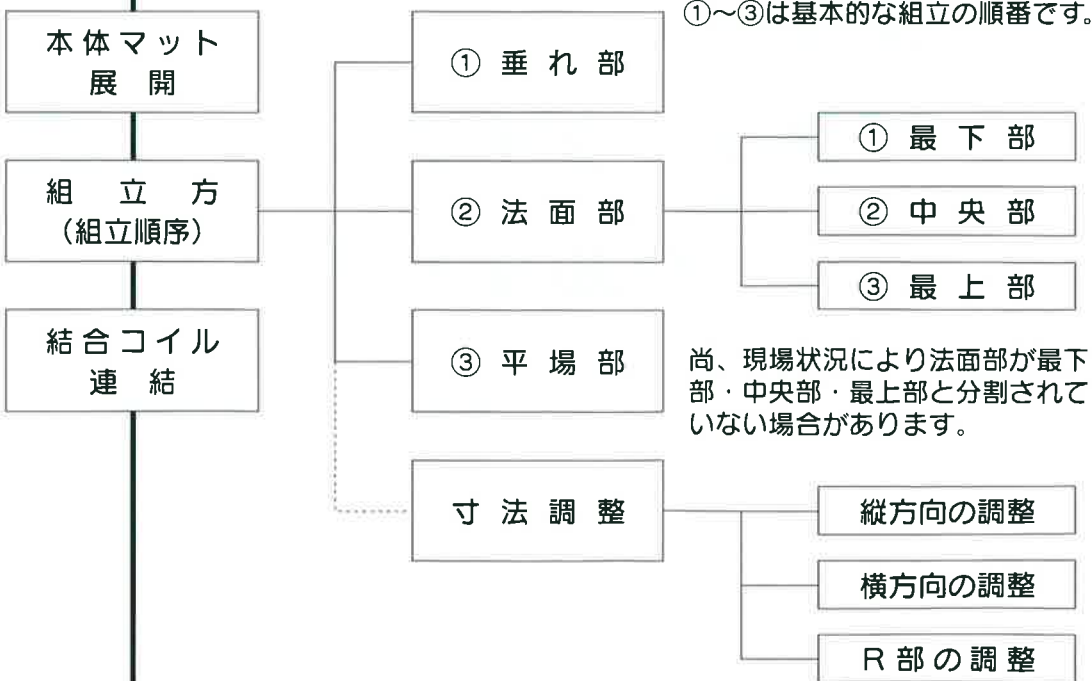
(1)

## 準備作業



(2)

## かご本体の組立



(3)

詰石作業

(4)

蓋網の設置

蓋網展開

組立方  
(組立順序)

結合コイル  
連結

完成

① 蓋網布設

② 骨線挿入

寸法調整

縦方向の調整

横方向の調整

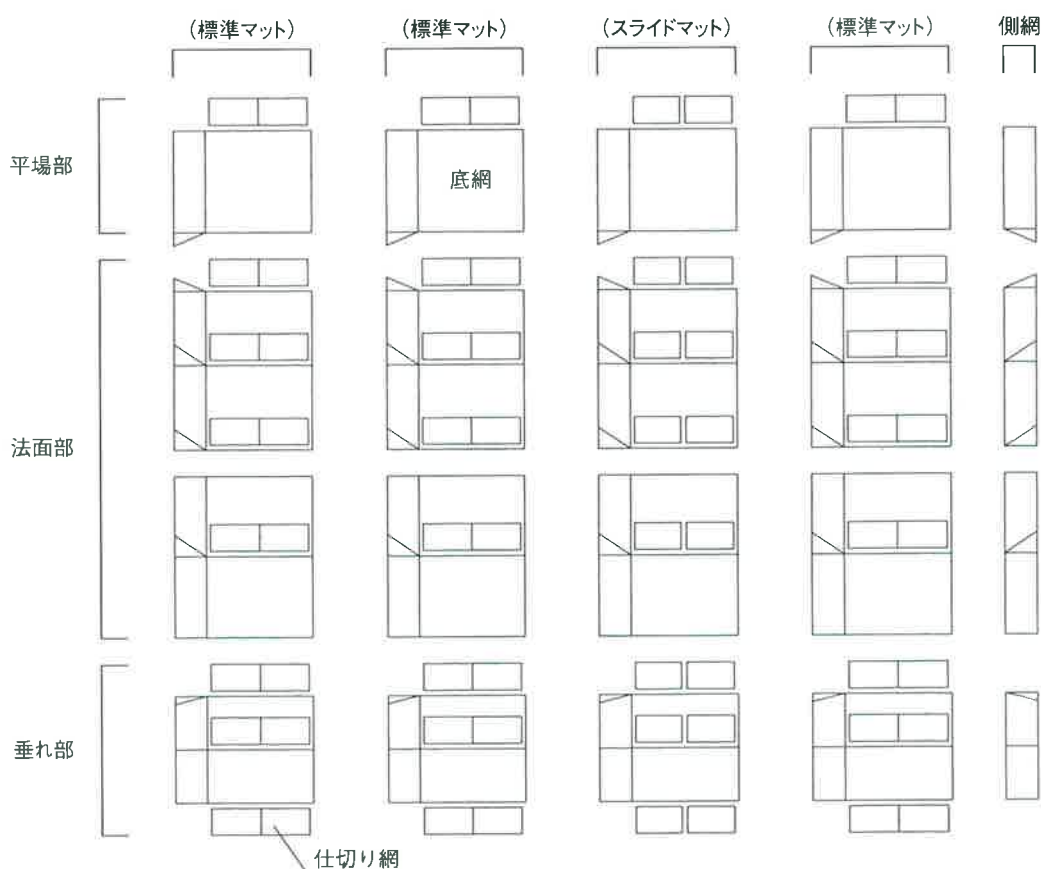
R部の調整

①～②は基本的な組立の順番です。

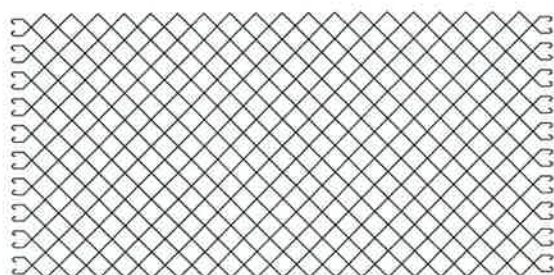
# スロープタイプ

## 1. 部 材

### (1) かごマット本体



### (2) 蓋網



### (3) 骨 線



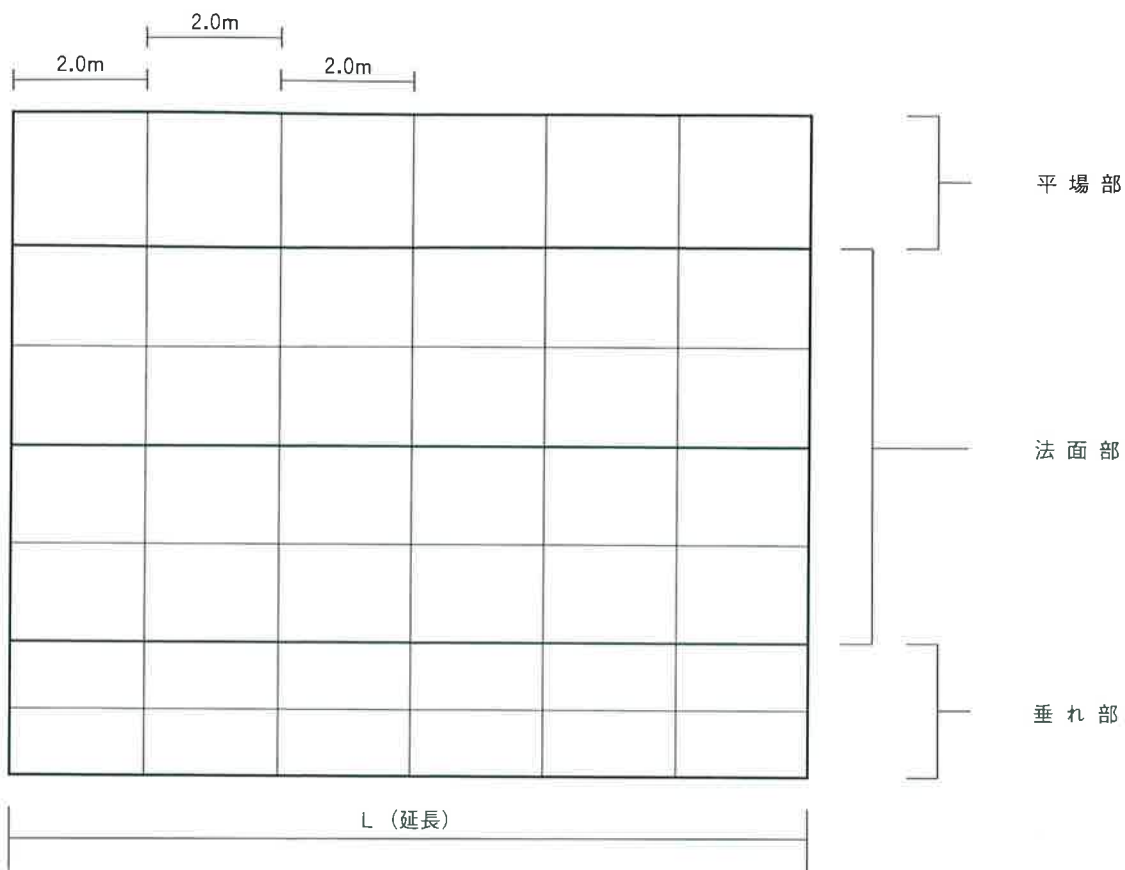
### (4) コイル

(注) 取付時には端部が内側を向く様にセットして下さい。

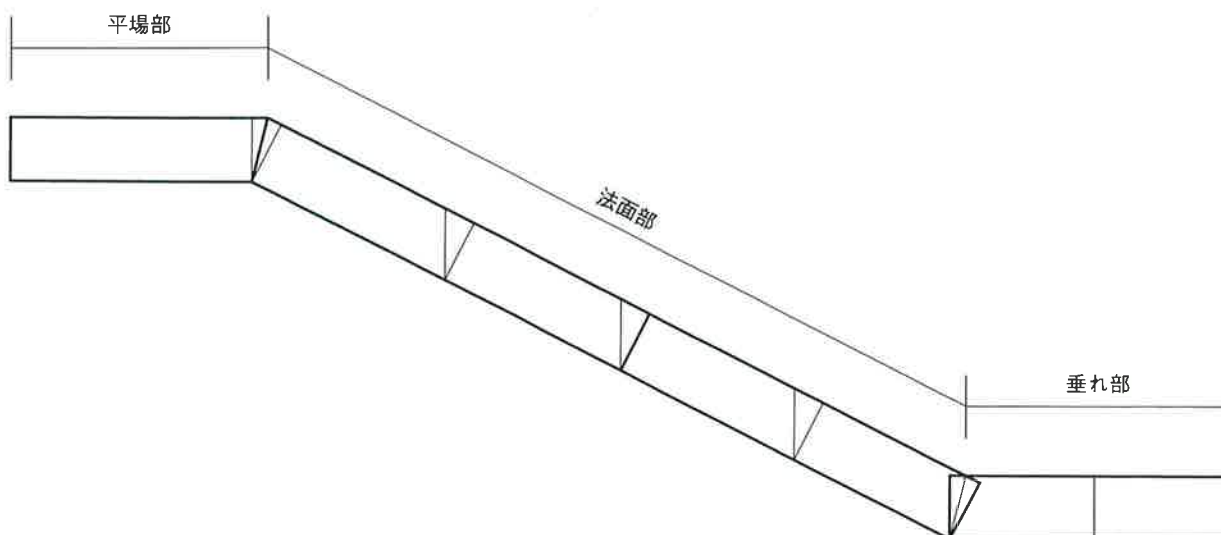


※その他W (蓋網幅) については、御指定の寸法に制作する事はできます。

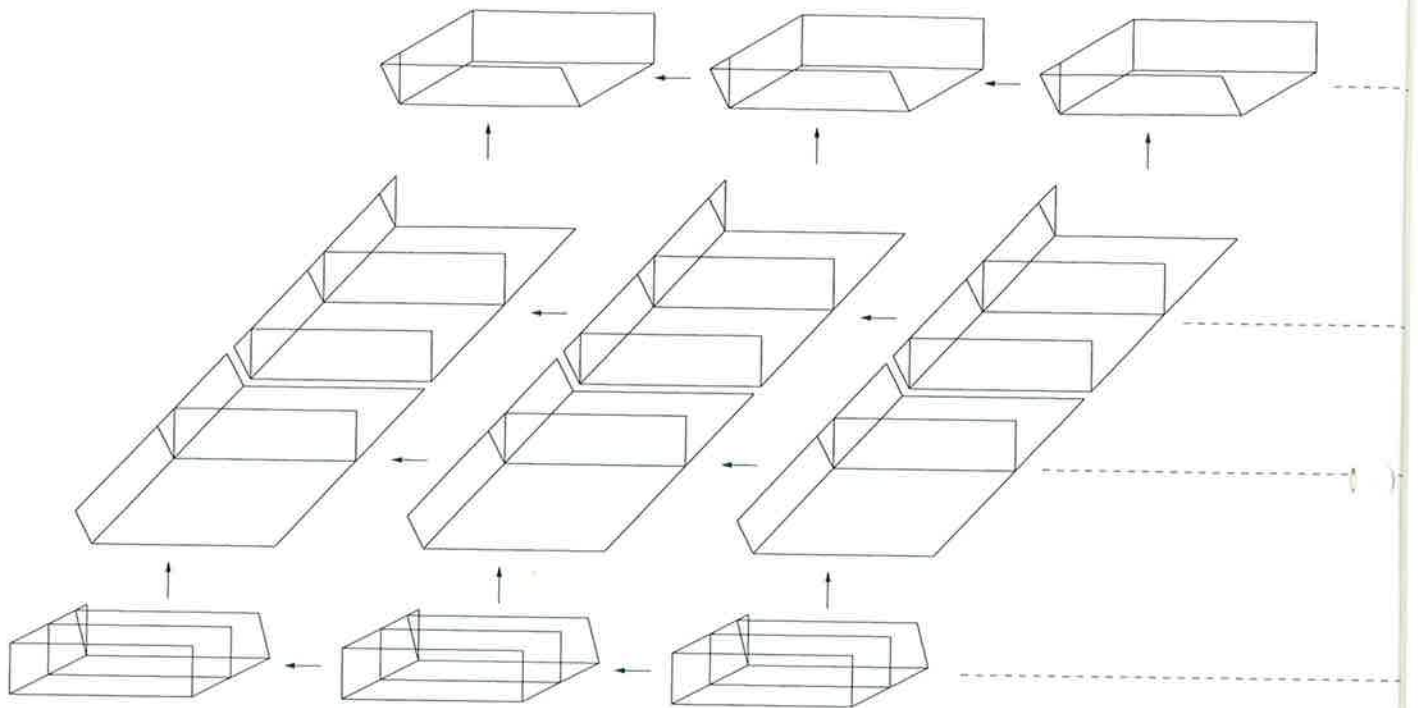
# 割付図



# 断面図



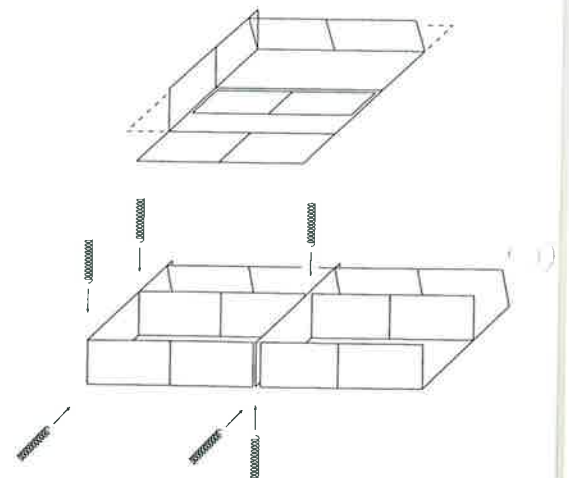
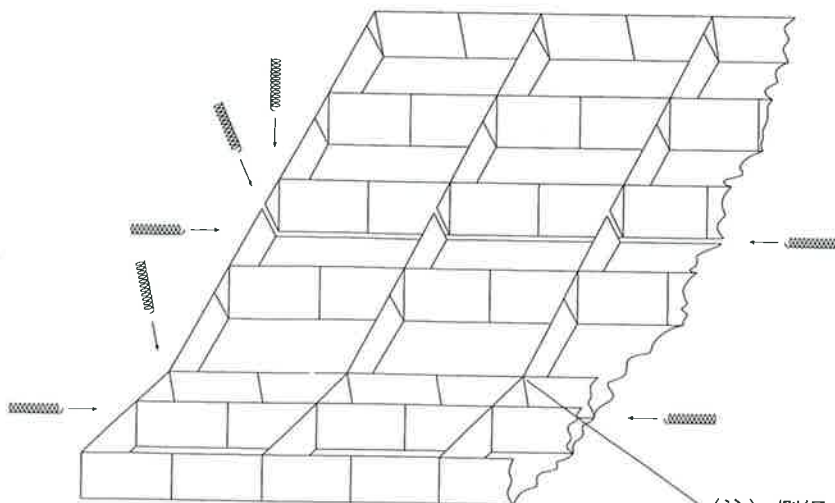
# 本体組立図



## 組立説明

(注) あらかじめ割付図にあわせて、3スパン毎にポイントを出し、マーキングをして組立ててください。

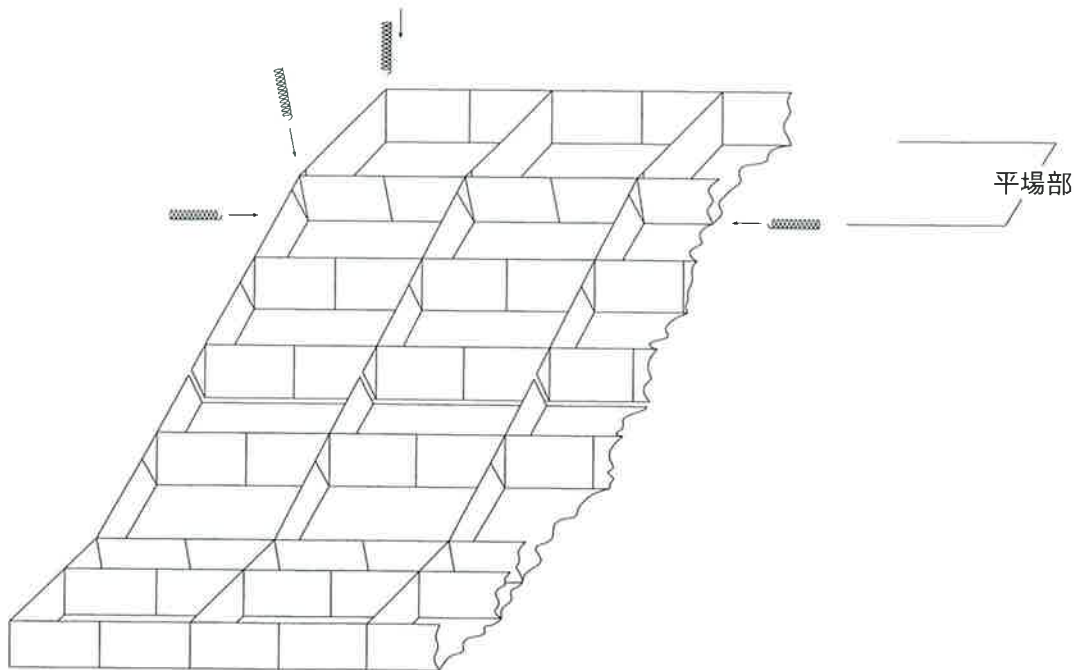
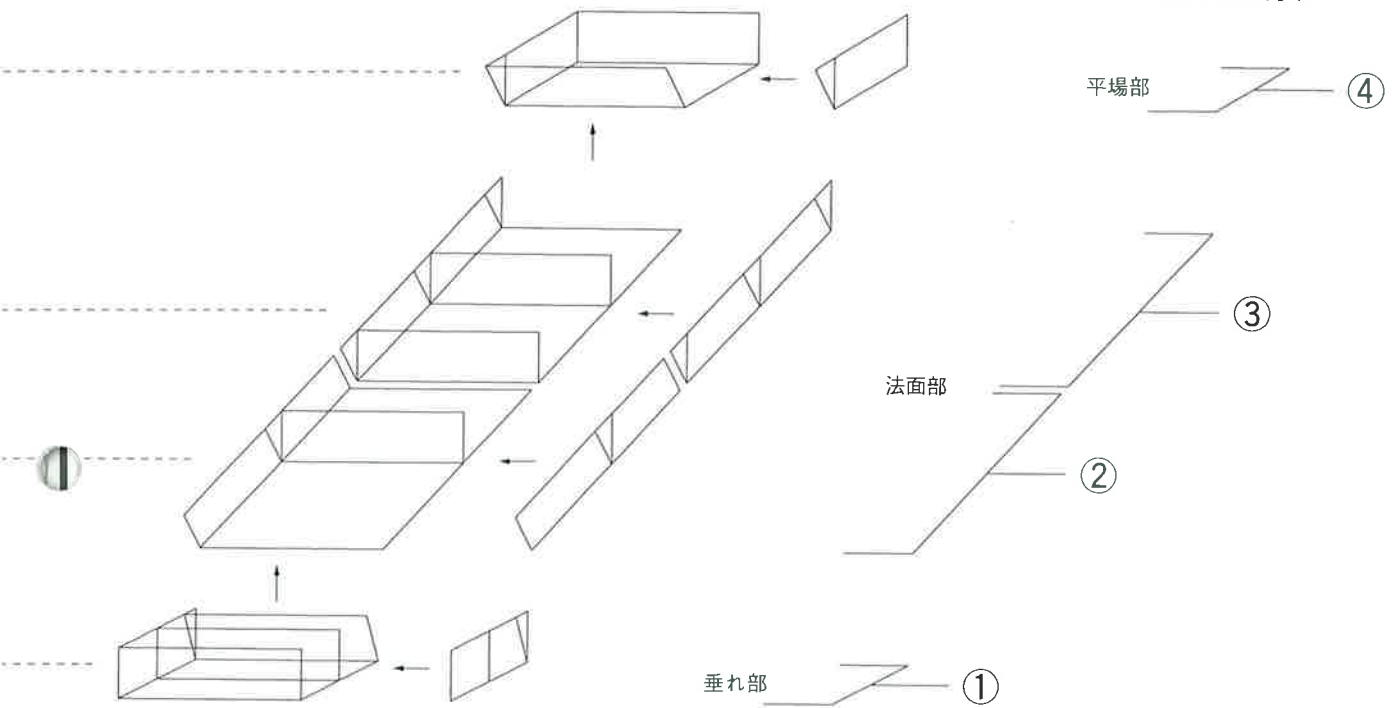
- ① 垂れ部のカゴマット本体の側網・仕切り網を立てる。
- ② 隣に同じく本体を並べて設置し、結合コイルにて連結する。  
(連続する本体間では、側網を共有する。)



- ③ 垂れ部の次に法面部の最下部を垂れ部同様結合コイルにて連結する。  
(連続する本体上下間では、仕切り網を共有する。)
- ④ 法面部の **最下部** → **中央部** → **最上部** の順に設置し組立てる。

(注) 側網・仕切網の通りをきちんと通し又天端を揃え結束線で結束後コイルを通して下さい。

(施工順序)



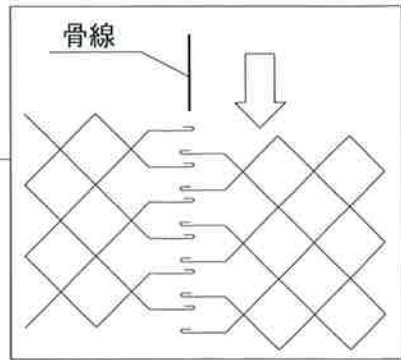
⑤法面部の次に平場部を法面部同様結合コイルにて連結する。  
(注) 石詰めの際、側網・仕切網の上部枠線にパイプ、角材、鉄筋等を取付けておくと枠線の変形を防ぎ、蓋網がかけやすくなります。

⑥石詰め完了後、蓋網をかぶせ骨線を通し、下のカゴ部と結合コイルに連結する。  
(下のカゴ部の枠上に全て骨線を通し結合コイルに連結する。)

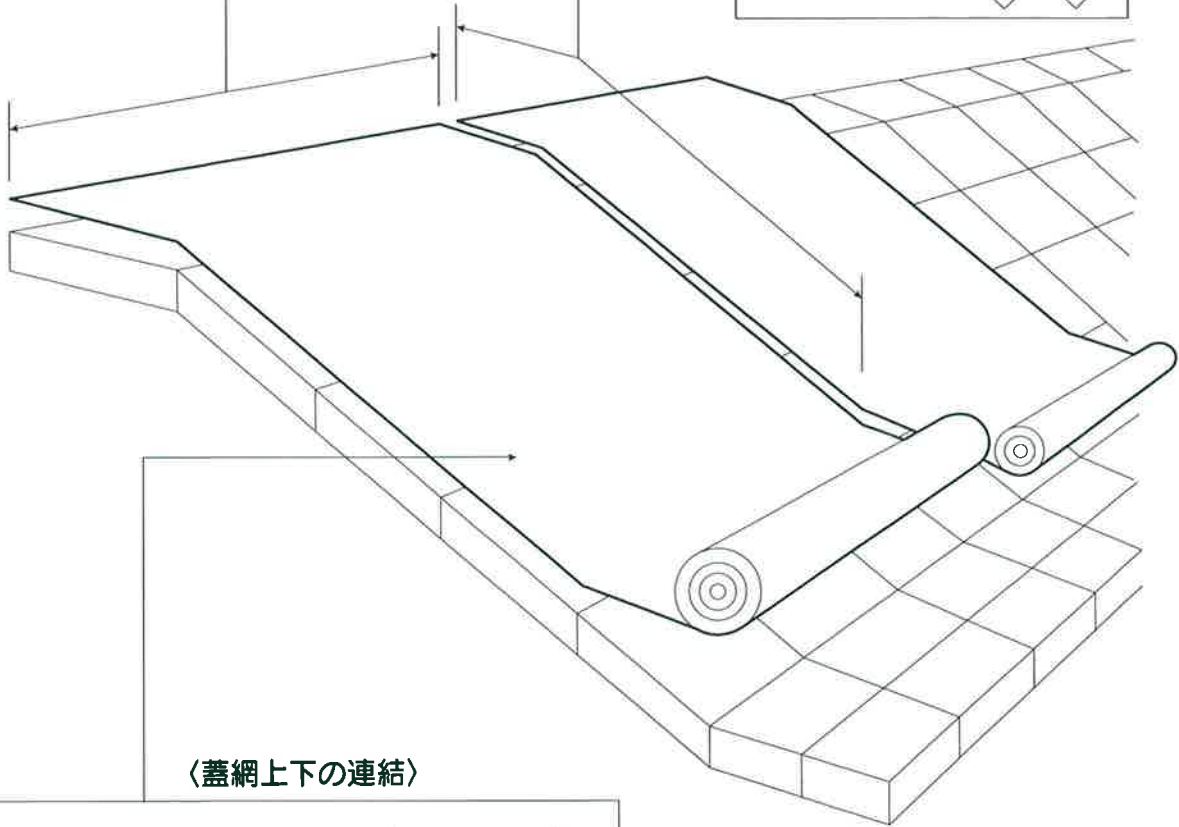
※尚、詳しくは、次項の蓋網布設図・結合コイル及び骨線取付箇所にて説明しております。

# 蓋網布設図

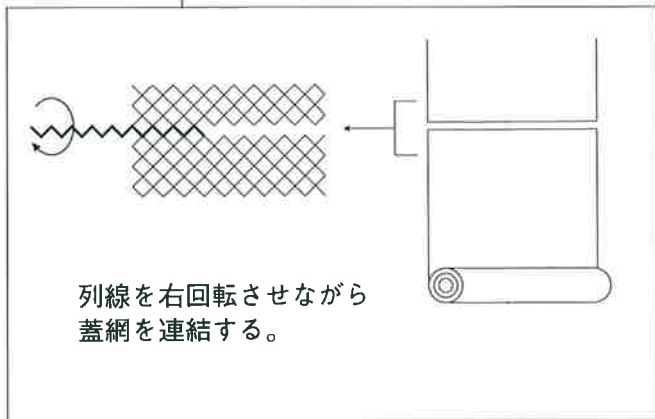
〈蓋網左右の連結〉



[最初に骨線を通し連結する部分]  
 ロール状の蓋網の端に骨線を通し、  
 コイルで下のカゴ部の枠と連結する。

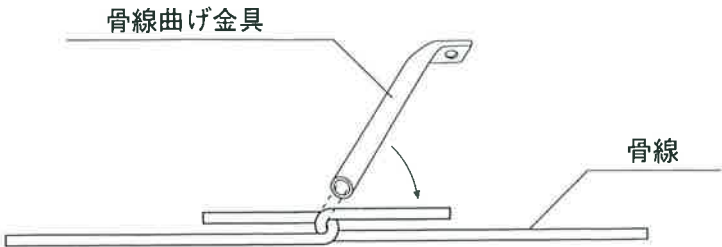


〈蓋網上下の連結〉



列線を右回転させながら  
 蓋網を連結する。

蓋網に骨線を通し、下のカゴ部とコイル  
 で連結する。(下のカゴ部の枠上に全て  
 骨線を通し連結する。) 尚、骨線の端は  
 フック状に折り曲げて抜けにくい様、専用  
 の骨線曲げ金具にて加工する。

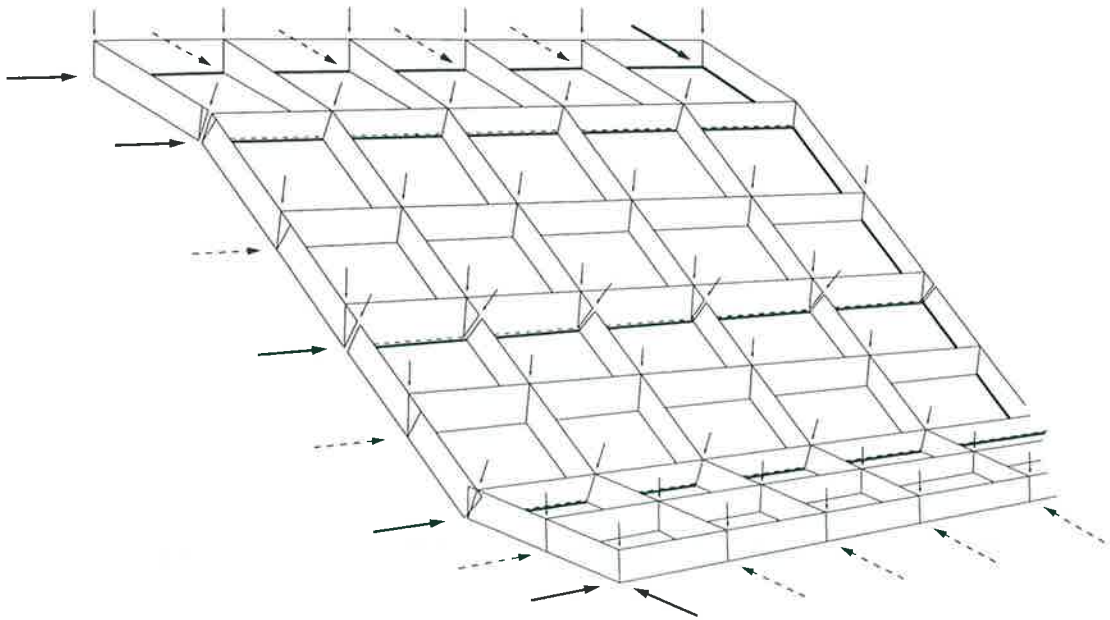




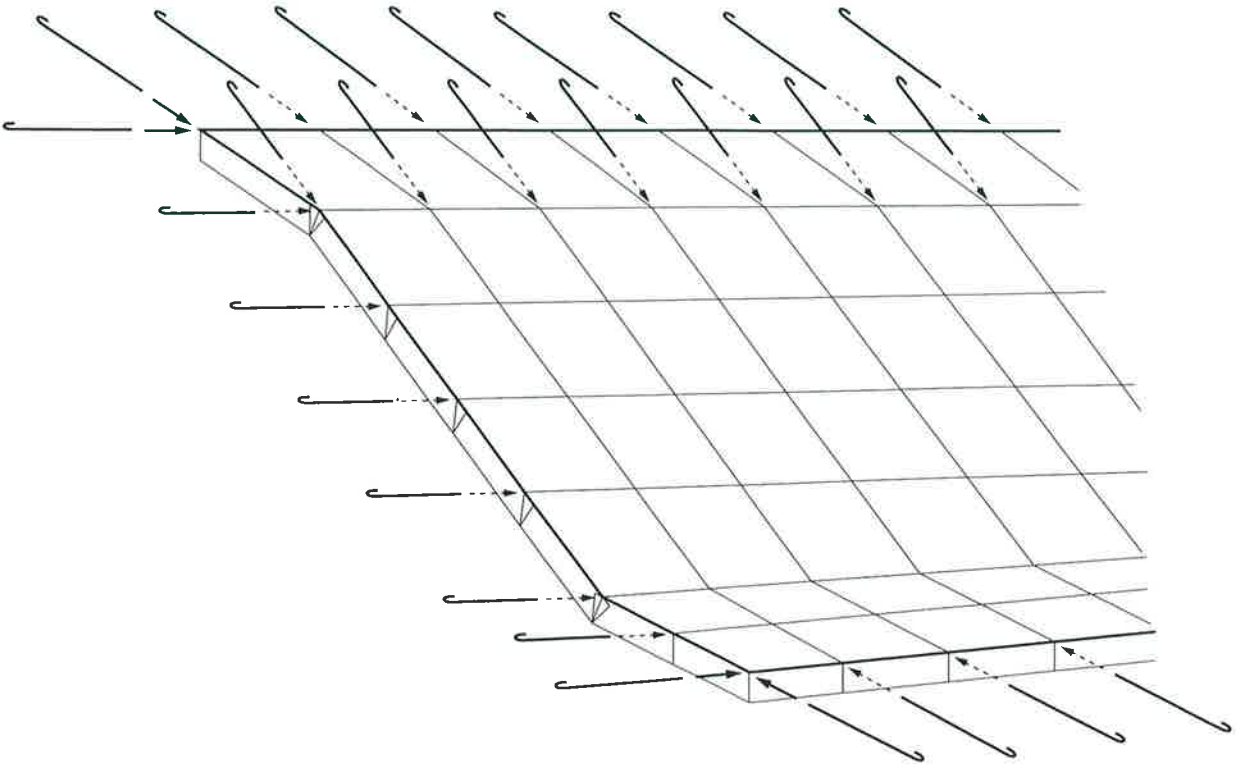
# 結合コイル及び骨線取付箇所

**(本体部)**

- コイルを1m当り2個取付ける箇所 ( —— 部……外周部・本体の上下間)
- - - -> コイルを1m当り1個取付ける箇所 ( —— 部……上記以外の箇所)



**(蓋網部)**

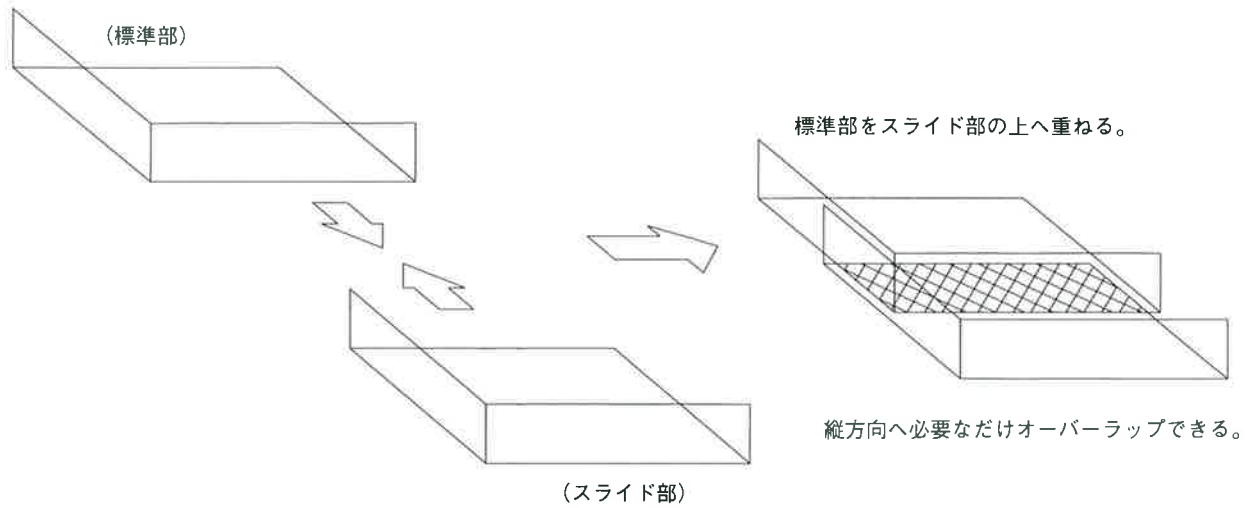


- 骨線を通した後コイルを1m当り2個取付ける箇所 ( —— 部……外周部)
- - - -> 骨線を通した後コイルを1m当り1個取付ける箇所 ( —— 部……上記以外の箇所)

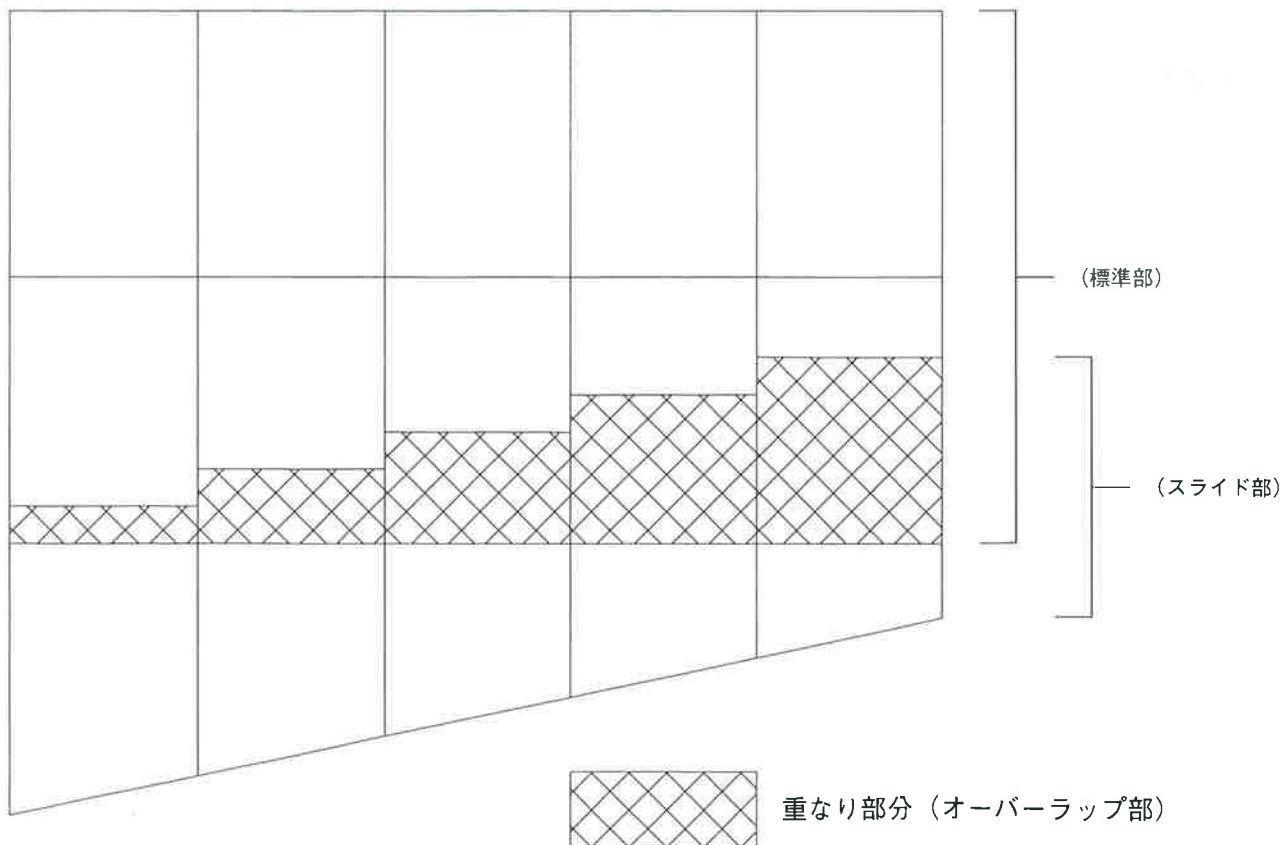
# スライドマット

## (縦スライド部)

法面の長さが一定でない場合、縦方向にスライドマットを使用する。



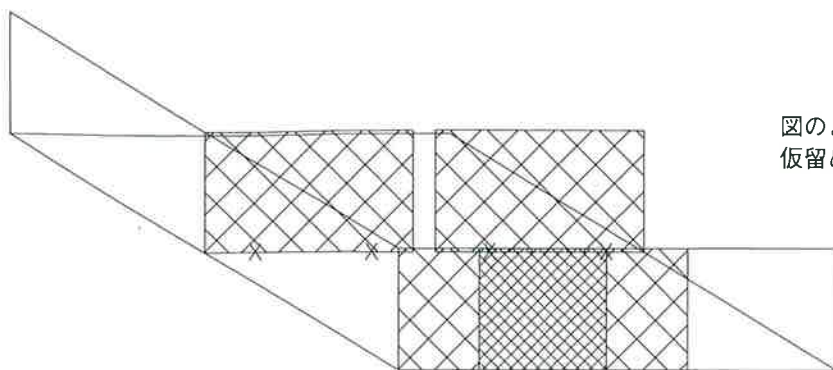
標準部とスライド部の重なり幅を、法面の長さにあわせて決定する。



# スライドマット

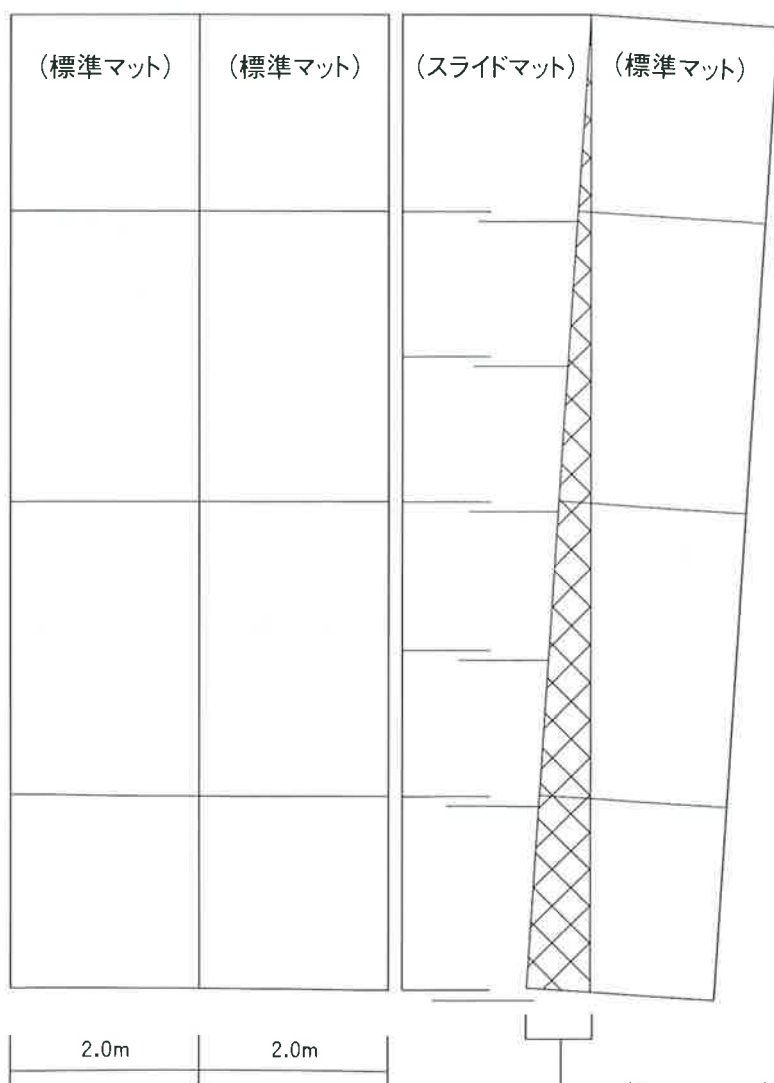
## (横スライド部)

R部分（曲線部分）に対応させる場合、横方向にスライドマットを使用する。



図のように、仕切り網は2枚に分かれて仮留めされている。

仕切り網は必要なだけオーバーラップできる。

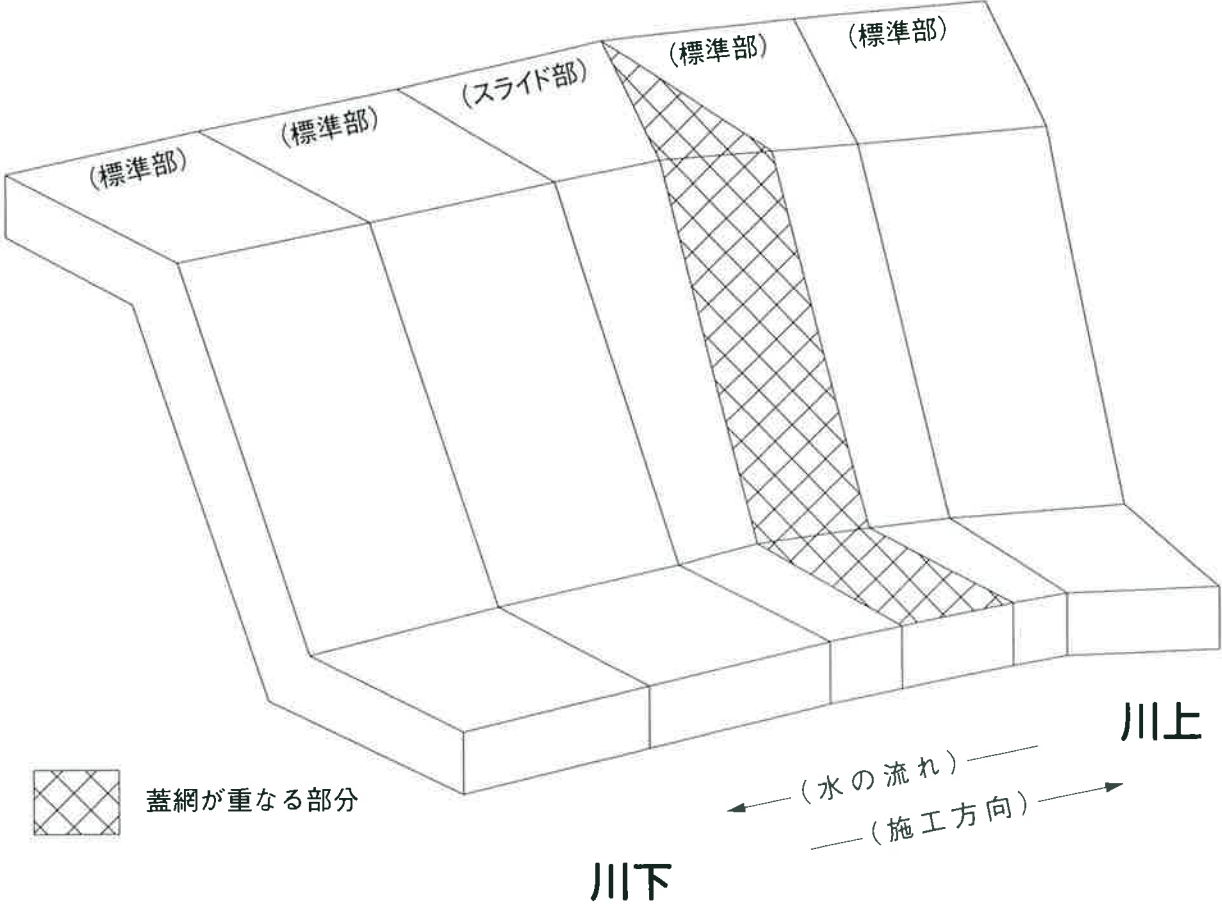


R部（曲線部）の程度によって標準マットにスライドマットを必要数組み合わせる。

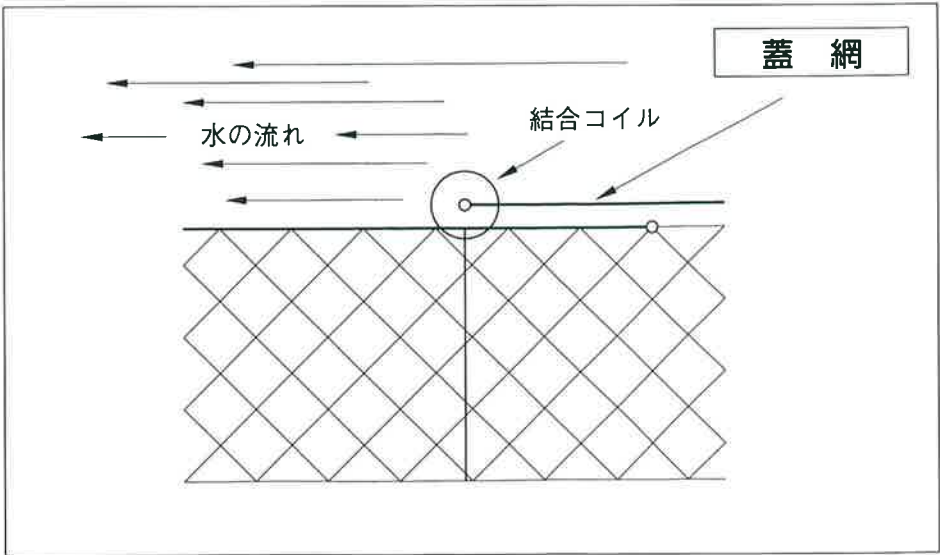
幅2 mのカゴ本体に対して仕切り網の幅が1 mなので、重ね部分（オーバーラップ部）の最大幅は1 mとなる。

# 曲線部の蓋網の重ね方

Rがあり、蓋網の重ねが必要な場合、水流による蓋のめくれを防ぐ為、必ず川下から川上へ蓋網を施工する。



〈蓋網が重なる部分の断面〉



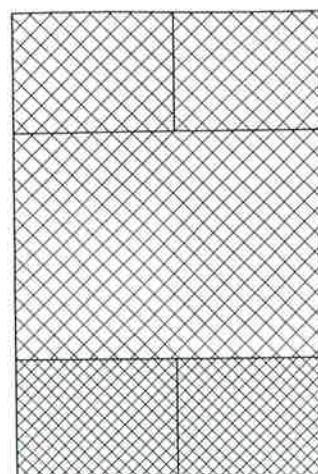
# ダブルタイプ

## 1. 部 材

(1) かごマット本体  
(三面体)

.....

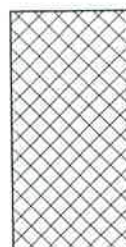
(背面網)



0

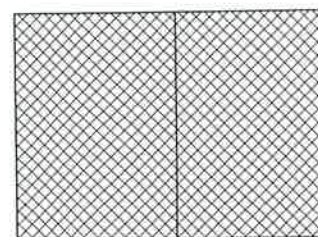
(2) 仕切網

.....



(3) 蓋 網

.....



0

(4) 補強線

.....

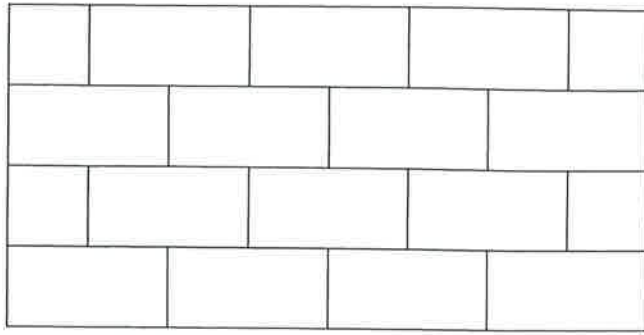


(5) コイル

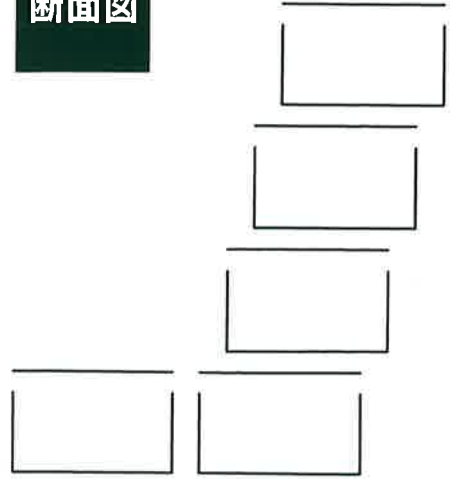
.....



# 正面図

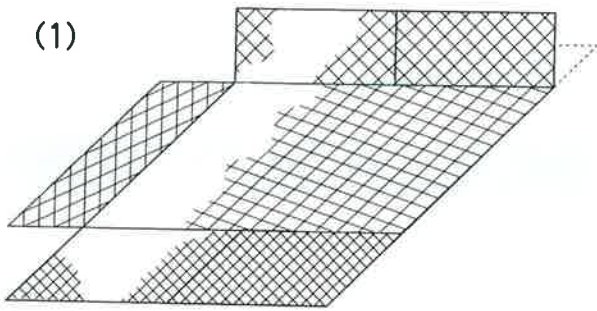


# 断面図



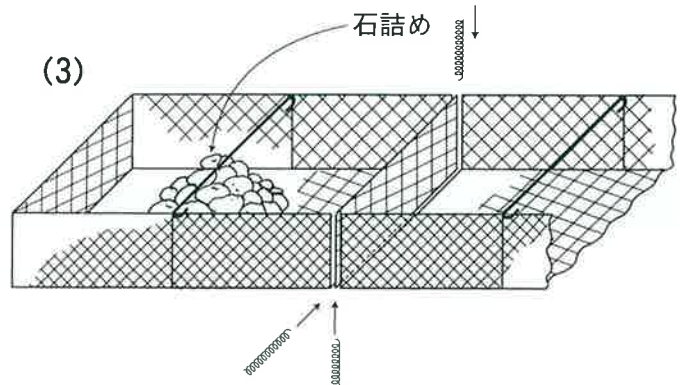
# 組立図

(1)

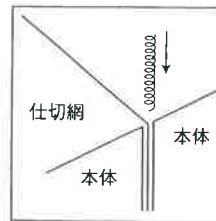


- 前面網  
背面網  
仕切網 (側網)  
①かごマット本体に背面網を立てる。  
(前面網は背面網よりも網目が細かい)

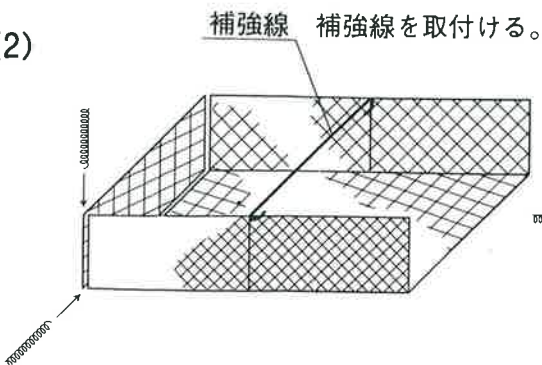
(3)



- ①連続する本体間では仕切網を共有する。  
仕切網を本体間に入れコイルにて連結する。  
三本の枠線を一本のコイルで連結する。

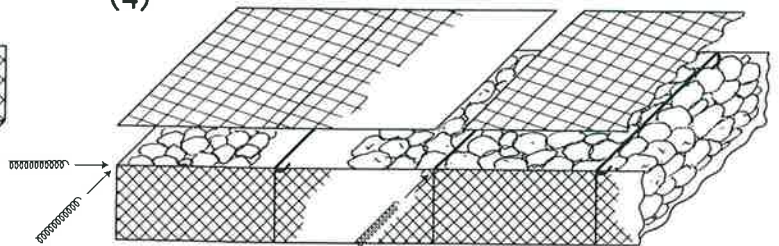


(2)



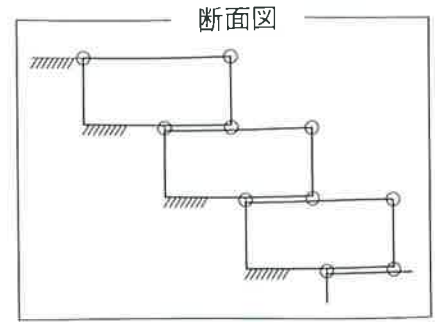
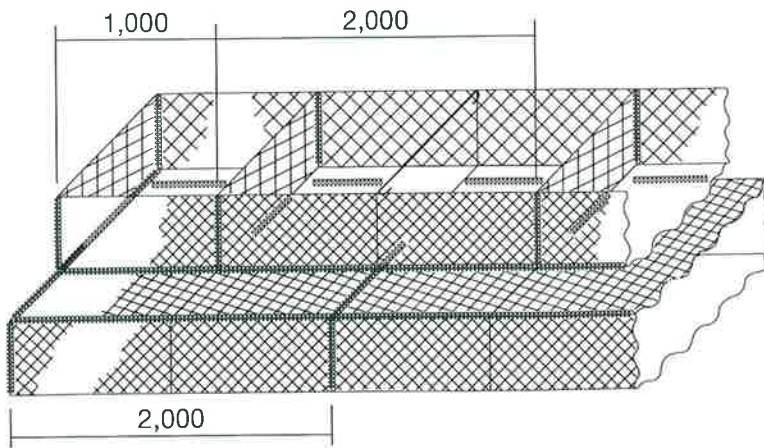
- 前面網  
背面網  
仕切網 (側網)  
①かごマット本体に背面網をコイルにて組立てる。  
補強線 補強線を取付ける。

(4)



- ①石詰めを終了後、上網をかぶせコイルで本体に連結する。

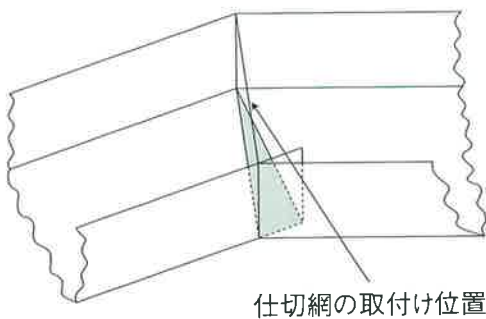
(5)



- ①かごマット本体、前面網、仕切網をコイルにて、接続面全延長を連結する。  
 (ただし、背面網側は、全延長の1/2程度でよい。)  
 (注) コイルの切り口の向きは、内側向きになるように。

## カーブ及び延長の調整(本体を重ねる)

### カーブの場合

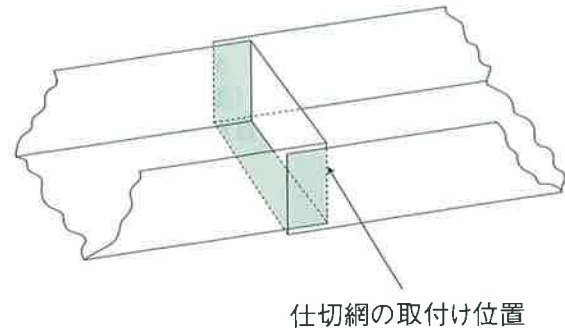


上流→

■ 重なる部分

下流より施工し、上流側の網を下流側の網の上に重ねる

### 延長を短くする場合



上流→

※上蓋も本体同様重ねる

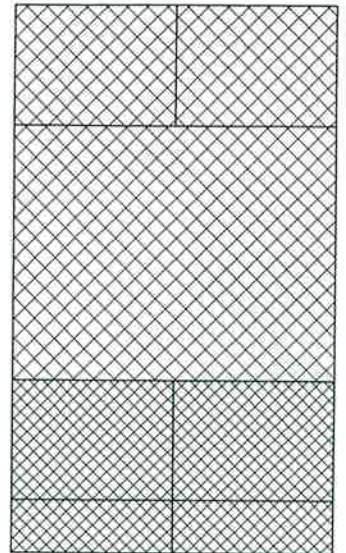
下流より施工し、上流側の網を下流側の網の上に重ねる

# シングルタイプ

## 1. 部 材

(1) かごマット本体 .....  
(四面体)

(背面網)



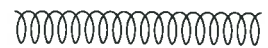
(2) 仕切網 .....  
仕切網



(3) 補強線 .....  
補強線

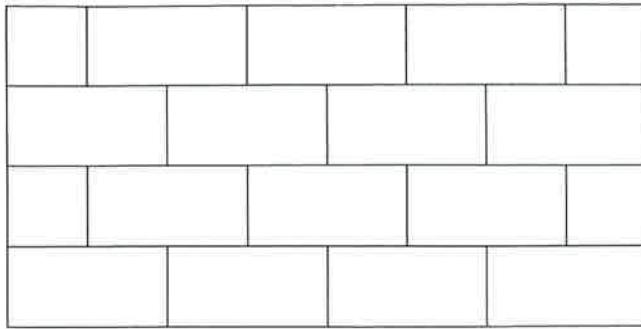


(4) コイル .....  
コイル

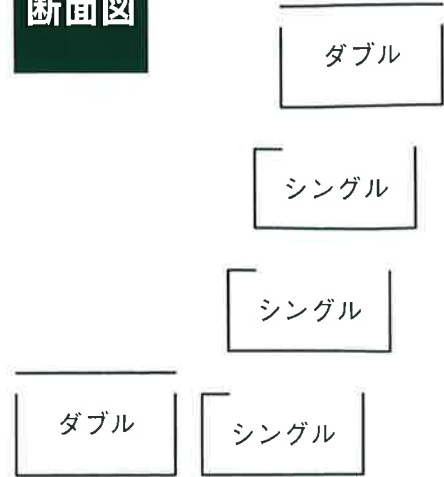




# 正面図

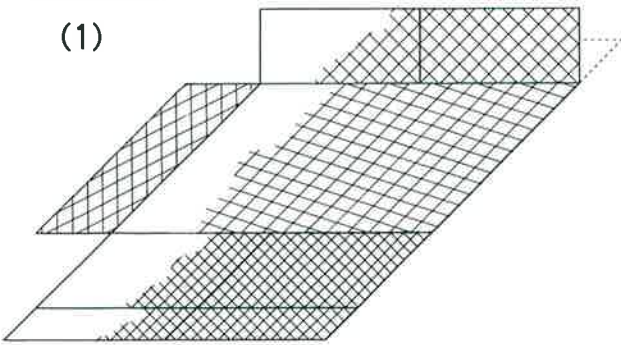


# 断面図



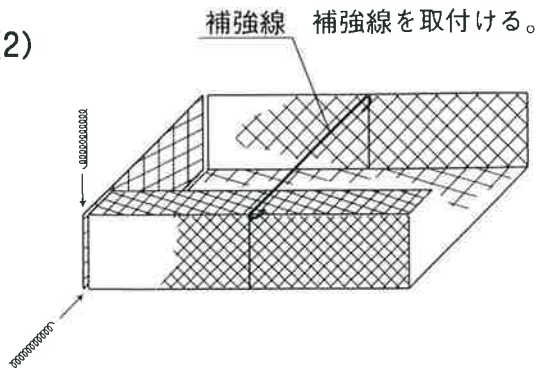
# 組立図

(1)



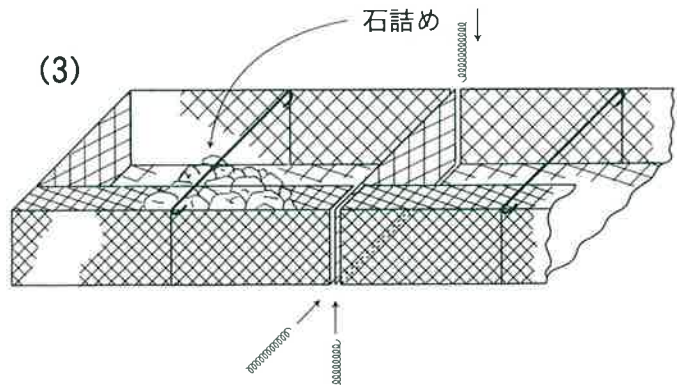
- ①かごマット本体に  
前面網 背面網 を立てる。  
仕切網 (側網)  
(前面網は背面網よりも網目が細かい)

(2)

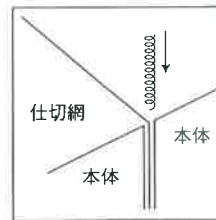


- ①かごマット本体に  
前面網 背面網 をコイルにて組立てる。  
仕切網 (側網)

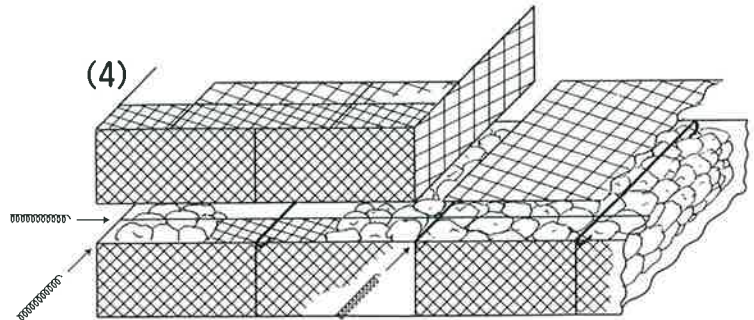
(3)



- ①連続する本体間では仕切網を共有する。  
仕切網を本体間に入れコイルにて連結する。  
三本の枠線を一本のコイルで連結する。

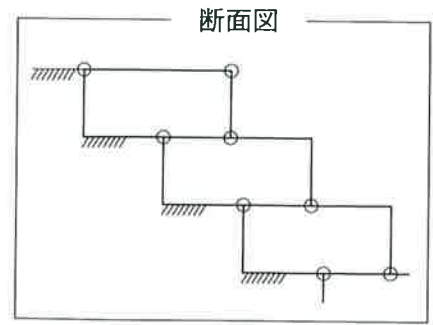
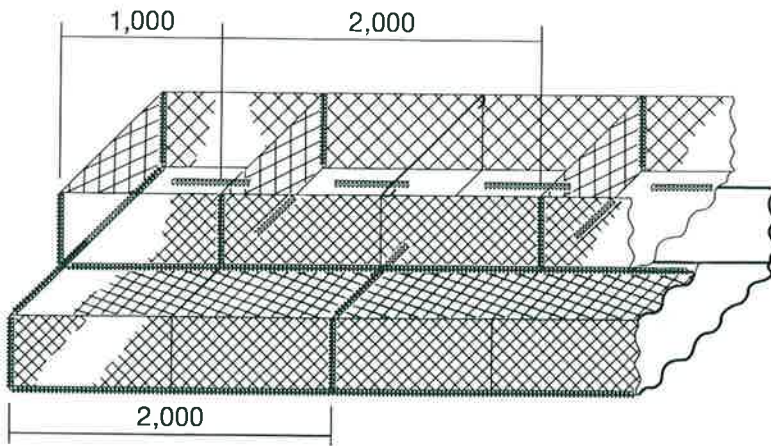


(4)



- ①石詰めを終了後、上網をかぶせコイルで本体に  
連結する。

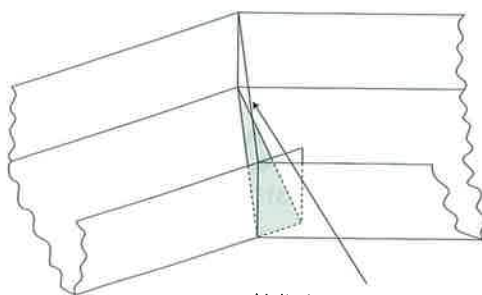
(5)



- ①かごマット本体、前面網、仕切網をコイルにて、接続面全延長を連結する。  
(ただし、背面網側は、全延長の1/2程度でよい。)  
(注) コイルの切り口の向きは、内側向きになるように。

## カーブ及び延長の調整(本体を重ねる)

### カーブの場合

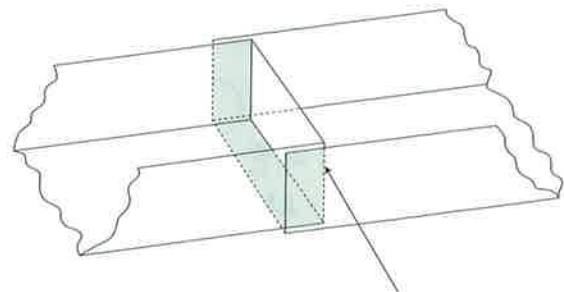


仕切網の取付け位置

上流→

■ 重なる部分

### 延長を短くする場合



仕切網の取付け位置

上流→

※上蓋も本体同様重ねる



## 青森昭和産業株式会社

- 本社工場  
〒036-1325 青森県弘前市一町田字村元832-2 TEL.0172-82-4611 FAX.0172-82-4613
- 弘前事業部  
〒036-8326 青森県弘前市藤野2丁目8-1 TEL.0172-38-2611 FAX.0172-38-2655
- 大館作業所  
〒018-5751 秋田県大館市二井田字前田野104-50 TEL.0186-43-6080 FAX.0186-43-6123

ホームページアドレス  
<http://www.aomori-showasangyo.co.jp/>

- 昭和産業株式会社 TEL.0296-28-1234 FAX.0296-28-1367
- 第一工場 TEL.0296-28-8111 FAX.0296-28-6540
- 第二工場 TEL.0296-28-3344 FAX.0296-28-2591
- 川島工場 TEL.0296-28-1236 FAX.0296-28-1237
- 東京営業所 TEL.03-3632-6311 FAX.03-3632-6316

ホームページアドレス  
<http://www.showasangyo.co.jp/>

- 北興昭和株式会社 TEL.0123-28-3171 FAX.0123-28-3172
- 有限会社 県南製作所 TEL.0178-20-2627 FAX.0178-20-2607
- 秋田昭和産業株式会社 TEL.0185-35-2345 FAX.0185-35-2346
- 株式会社 北昭 TEL.0197-67-3131 FAX.0197-67-3133
- 昭和花泉株式会社 TEL.0191-82-5415 FAX.0191-82-5417
- 山形昭和産業株式会社 TEL.0237-86-0231 FAX.0237-86-0235
- 山形線材鋼業株式会社 TEL.0233-25-2771 FAX.0233-25-2772
- 宮城昭和産業株式会社 TEL.022-345-5541 FAX.022-345-5544
- 福昭産業株式会社 TEL.0249-43-1248 FAX.0249-43-1237